

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2006-148710(P2006-148710A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-337978(P2004-337978)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 3 B 11/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 1 L 31/02 (2006.01)

H 0 1 L 27/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 V

G 0 2 B 7/02 Z

G 0 3 B 11/00

G 0 3 B 17/02

H 0 1 L 31/02 B

H 0 1 L 27/14 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月7日(2006.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

基体の表面に配置され、受光部が透明体で被覆された撮像素子と、入射光を前記受光部へ導光するレンズと、前記透明体の表面に当接する当接部を有し、前記基体に固定され、前記レンズを保持する管状の固定部とを備える撮像モジュールの製造方法であって、

前記透明体の表面に前記当接部を当接した状態で、前記基体と前記固定部とを固定する固定工程を含むこと

を特徴とする撮像モジュールの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

本発明に係る撮像モジュールの製造方法は、基体の表面に配置され、受光部が透明体で被覆された撮像素子と、入射光を前記受光部へ導光するレンズと、前記透明体の表面に当接する当接部を有し、前記基体に固定され、前記レンズを保持する管状の固定部とを備える撮像モジュールの製造方法であって、前記透明体の表面に前記当接部を当接した状態で、前記基体と前記固定部とを固定する固定工程を含むことを特徴とする。